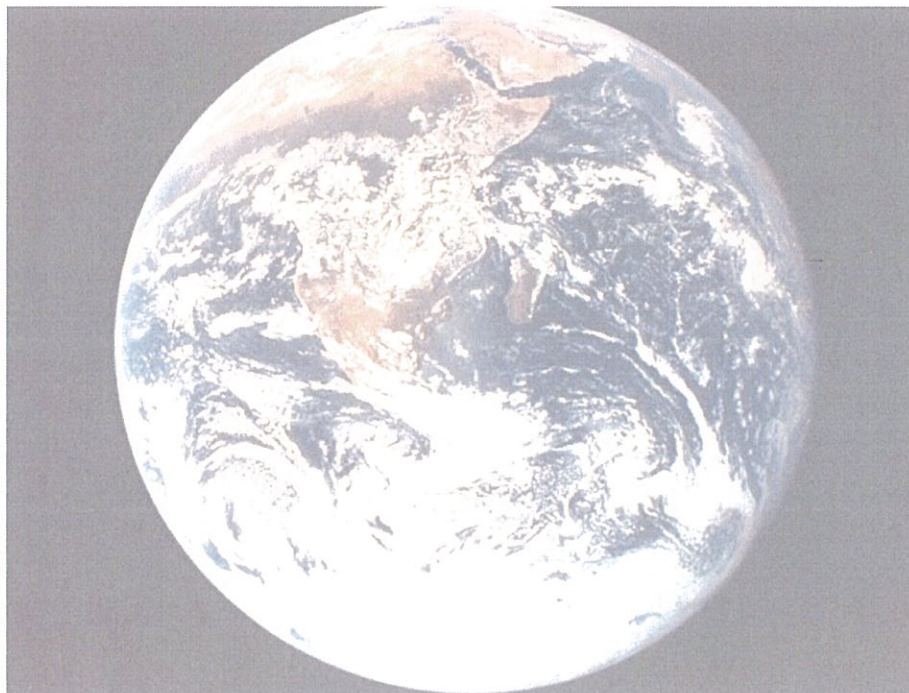


2017年 環境活動レポート

〈活動期間：2017年度：2017年4月1日～2018年3月31日〉



発行日：2018年 5月31日

改訂日： 年 月 日

会社概要

■ 社名	株式会社 ニート
■ 設立	昭和61年3月
■ 資本金	9,800万円
■ 代表者	代表取締役社長 児玉 崇
■ 環境管理責任者	柿本 正広
■ 従業員数	本社・大阪営業所 3名 小野工場 70名 パワーサプライ 7名 加西工場 29名
■ 工場延床面積	本社・大阪営業所 86㎡ 小野工場 5,075㎡ (パワーサプライ含む) 加西工場 7,898㎡
■ 生産高	1,024.60トン (2017年度製品出荷量)
■ 売上高	1,704百万円 (2017年度)
■ 対象範囲 事業所	本社・大阪営業所／大阪市中央区北久宝寺町4丁目3番5号 本町サミットビル4F TEL 06-6120-6607 (代) FAX 06-6120-6608 小野工場／兵庫県小野市匠台23番地 TEL 0794-63-3171 (代) FAX 0794-63-3172 パワーサプライ株式会社／兵庫県小野市匠台23番地 (ニート小野工場内) TEL 0794-62-0551 FAX 0794-63-3172 加西工場／兵庫県加西市朝妻町1044番地 TEL 0790-47-9001 (代) FAX 0790-47-9007
活動範囲	プラスチック製品の開発及び製造 営業品目 精密エンジニアリングプラスチック成形 医療機器用プラスチック成形 その他プラスチック成形 射出成形用精密金型の設計・製造
■ 事業年度	4月～3月

株式会社 ニート

環境方針書



基本理念

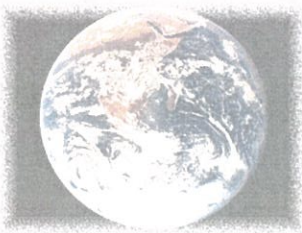


当社は環境保全が永続できる環境経営システムを構築する事によって、その重要性を認識し地球環境保全に寄与できる生産体制の確立及び運用を積極的に行います。

また従業員一人一人が地球環境保全の責務を負っている事を認識し、その責務を果たすシステムを構築する事によって、健全な地球環境の保持に努めます。

行動指針

- 【1】 環境関連法規制を順守する。
- 【2】 環境保全活動に数値目標を立て、実現する為に継続的改善活動を行う。
- 【3】 環境保全教育を実施し全従業員が保全活動に取り組む。
- 【4】 廃棄物の削減に取り組む。
- 【5】 排出 CO2 の管理を行い、その低減活動に取り組む。
- 【6】 購入品についてはグリーン調達に取り組む。
- 【7】 水資源利用の削減に取り組む。
- 【8】 廃プラスチックのリサイクル推進。



この方針書は社内外を問わず公表します。

制定: 2006 年 1 月 6 日

改定: 2016 年 4 月 6 日

＜環境負荷状況（実績）＞ （小野工場）

環境負荷項目			単位	2011年度 (基準年度)	2015年度	2016年度	2017年度
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素		t-CO ₂	2,469	2,007	1,984	2,093
② 廃棄物 総排出量	一般廃棄物	再生利用	t	7.65	11.05	9.72	6.96
	産業廃棄物	再生利用	t	100.75	144.46	141.88	57.13
		熱回収	t	28.01	8.54	7.77	22.96
		廃プラ	t	0	0	0	13.75
		廃プラ以外	t	28.01	8.54	7.77	9.21
		最終処分量	t	0	0	0	
③-1 総排水量	下水道		m ³	5,788	8,322	5,232	5,919
③-2 水使用量	上水		m ³	5,788	8,322	5,232	5,919
④ 化学物質使用量			t	0	0	0	
⑤ エネルギー使用量	購入電力		千MJ (万kWh)	53,186 (541.0)	43,654 (444.1)	43,163 (439.1)	40,303 (410.0)
	化石燃料		千MJ	493	123	117	92
	ガソリン		(L)	(2,569)	(211)	(323)	(127)
	軽油		(L)	(10,521)	(3,040)	(2,765)	(2,286)
⑥ 物質使用量 (プラスチック原料)	資源投入量		t	908	1,218	1,133	1,099
⑦ 総製品生産量	製品生産量		t	864	1,146	1,039	1,025
	容器包装		t	85.41	118.5	123.21	115.27

注1) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、「平成23年度の関西電力㈱の実排出係数の公表」を引用。

購入電力0.450 (kg-CO₂/kWh)、ガソリン2.32166kg-CO₂/L、軽油2.62434kg-CO₂/L

注2) サイト内で循環的利用を行っている物質等はない。

注3) ⑥物質使用量⑦総製品生産量については、加西工場分を含む。

＜環境負荷状況(実績)＞ (加西工場) 2015年度(基準年度)

環境負荷項目		単位	2015年度 (基準年度)	2015年度	2016年度	2017年度
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	t-CO ₂	1,471	1,471	1,623	1,714
② 廃棄物 総排出量	一般廃棄物	再生利用	t	0	0	8.11
		再生利用	t	46	46	13.91
		熱回収	t	8.38	8.38	0
		廃プラ	t	0	0	0
		廃プラ以外	t	8.38	8.38	0
	産業廃棄物	最終処分量	t	0	0	0
③-1 総排水量	下水道	m ³	1,624	1,624	1,585	2,284
③-2 水使用量	上水	m ³	1,624	1,624	1,585	2,284
④ 化学物質使用量		t	0	0	0	
⑤ エネルギー使用量	購入電力	千MJ	25,593	25,593	27,535	27,648
		(万kWh)	(260.4)	(260.4)	(280.1)	(281.3)
	化石燃料	千MJ	118	118	2,235	3,741
		ガソリン (L)	(-)	(-)	342	1,363
	LPG	(Kg)	(-)	(-)	44,281	73,584

注1) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、「平成23年度の関西電力㈱の実排出係数の公表」を引用。

購入電力0.450 (kg-CO₂/kWh)、ガソリン2.32166kg-CO₂/L、軽油2.62434kg-CO₂/L

注2) 対象組織の拡大により、2015年度分より実績値記載

< 環境負荷状況(実績) > (本社・大阪営業所)

環境負荷項目			単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素		t-CO ₂	—	8.66	7.65	7.00
② 廃棄物 総排出量	一般廃棄物	再生利用	t (枚数)	— (—)	0.09 (23,000)	0.1 (24,000)	0.08 (19,000)
	産業廃棄物	—		—			
③-1 総排水量	下水道			—			
③-2 水使用量	上水			—			
④ 化学物質使用量	—			—			
⑤ エネルギー使用量	購入電力		千MJ (万kWh)	— (—)	189 (1.9)	169 (1.7)	153 (1.6)
	化石燃料		千MJ				
	ガソリン 軽油		(L) (L)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)

注1)購入電力の二酸化炭素排出係数は、「平成23年度の関西電力㈱の実排出係数の公表」を引用。

購入電力0.450(kg-CO₂/kWh)

注2)対象組織の拡大により、2015年度分より事業所別に実績値記載

注3)本社の場合、テナントビル全体にて廃棄処理している為、廃棄量の管理が難しい。その為、本社の主な廃棄物であるコピー用紙の使用枚数を管理することとしています。A4を基本とし4gで算出。また、水については、テナントビル共有で集計不可。

<環境目標> (小野工場)

項 目			単位	2017年度 (基準年度)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
[1]	排出CO ₂ 量	t-CO ₂ /台	65.0	65.0 -	64.7 (△0.5%)	64.4 (△1.0%)	64.0 (△1.5%)	
		t-CO ₂	2,679	2,679 -	2,666 (△0.5%)	2,652 (△1.0%)	2,639 (△1.5%)	
	①電力使用量	万kWh/台	14.25	14.25 -	14.18 (△0.5%)	14.11 (△1.0%)	14.04 (△1.5%)	
		万kWh	587.1	587.1 -	584.16 (△0.5%)	581.23 (△1.0%)	578.29 (△1.5%)	
	②化石燃料使用量	千MJ	536.55	536.55 -	533.87 (△0.5%)	531.18 (△1.0%)	528.50 (△1.5%)	
[2]	産業廃棄物	廃プラ	t	0	0	0	0	0
		廃プラ以外	t	27.17	27.17 -	27.03 (△0.5%)	26.90 (△1.0%)	26.76 (△1.5%)
[3]	水道使用量	m ³ /台	150.5	150.5 -	149.748 (△0.5%)	148.995 (△1.0%)	148.243 (△1.5%)	
		m ³	6,239	6,238.83 -	6,207.64 (△0.5%)	6,176.44 (△1.0%)	6,145.25 (△1.5%)	
[4]	グリーン調達	アイテム%	72.18	72.18 -	72.54 (+0.5%)	72.90 (+1.0%)	83.01 (+1.5%)	

※2014年度～2017年度の目標は、機械台数増加の為、2011年度の実績にその増加分を加味した基準値に補正。

補正の仕方については、2011年度実績(基準値)は機械台数が41台であったため、機械台数46台を基準に補正した。

※(△0.0%)は、削減率目標、(+0.0%)は、増加率目標

<環境目標> (加西工場)

項 目			単位	2017年度 (基準年度)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
[1]	排出CO ₂ 量		t-CO ₂ /台	182.0	182.0 -	181.1 (△0.5%)	180.2 (△1.0%)	179.3 (△1.5%)
			t-CO ₂	1,456	1,456 -	1,449 (△0.5%)	1,441 (△1.0%)	1,434 (△1.5%)
	①電力使用量		万kWh/台	32.22	32.22 -	32.06 (△0.5%)	31.90 (△1.0%)	31.74 (△1.5%)
			万kWh	257.8	257.8 -	256.5 (△0.5%)	255.2 (△1.0%)	253.9 (△1.5%)
	②化石燃料使用量		千MJ	117.11	117.11 -	116.52 (△0.5%)	115.94 (△1.0%)	115.35 (△1.5%)
[2]	産業廃棄物	廃プラ	t	0	0	0	0	0
		廃プラ以外	t	8.3	8.30 -	8.26 (△0.5%)	8.22 (△1.0%)	8.18 (△1.5%)
[3]	水道使用量		m ³ /台	200.97	200.97 -	199.97 (△0.5%)	198.96 (△1.0%)	197.96 (△1.5%)
			m ³	1,607.76	1,607.76 -	1,599.72 (△0.5%)	1,591.68 (△1.0%)	1,583.64 (△1.5%)

＜環境目標＞（本社・大阪営業所）

項 目			単位	2016年度 (基準年度)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
[1]	排出CO ₂ 量		t-CO ₂	7.65 (8.66)	8.57 ← () の△1%	7.61 (△0.5%)	7.57 (△1.0%)	7.53 (△1.5%)
	①電力使用量		kWh	16,996 (19,244)	19,051 ← () の△1%	16,911 (△0.5%)	16,826 (△1.0%)	16,741 (△1.5%)
	②化石燃料使用量		千MJ	-	-	-	-	-
[2]	廃棄物	一般廃棄物	紙使用枚数/年	24,000 (26,500)	26,000 ← () の△2%	23,760 (△1.0%)	23,520 (△2.0%)	23,280 (△3.0%)
		産業廃棄物	-	-				

※本社の場合、テナントビル全体にて廃棄処理している為、廃棄量の管理が難しい。その為、本社の主な廃棄物であるコピー用紙の使用枚数を管理することとしています。また、水については、テナントビル共有で集計不可。2016年度にテナントビル全体で電力使用量の見直しがあった為、基準年度2015年（）を2016年に変更。但し、[2]の一般廃棄物で紙使用枚数の基準年度は2012年（）。

＜2017年度の具体的環境活動計画＞

①排出CO₂量の削減

- ・電力使用量の削減及び化石燃料使用量の削減の活動として実施する。

②電力使用量の削減

- ・節電活動の呼びかけ
- ・消費電力の異常監視・・・デマンド警報の監視徹底
- ・射出成形機の断熱による節電
- ・定期的な空調フィルター清掃
- ・手順書の説明（電力）

③化石燃料使用量の削減

- ・エコドライブ（アイドリングストップ、経済速度運転等）の取り組み
- ・燃費の良い社用車から優先に利用するための管理資料作成

④産業廃棄物最終処分量（廃プラ）の削減

- ・廃プラ削減呼びかけ
- ・再利用と廃棄の分別を徹底
- ・製品飛散の削減
- ・手順書の説明（産業廃棄物など）
- ・廃プラのリサイクル化

⑤産業廃棄物最終処分量（廃プラ以外）の削減

- ・廃棄物分別運動・・・廃棄担当者の特定
- ・紙類のリサイクル化
- ・事務用品グリーン調達運動
- ・手順書の説明（産業廃棄物など）
- ・コピー用紙節約運動・・・裏紙使用、両面印刷の徹底

⑥水道使用量の削減

- ・節水の呼びかけ
- ・現場パトロールによる指導（1回/月）
- ・冬季凍結防止対策の指導と監視
- ・減水満水警報の異常監視
- ・水質処理装置の管理徹底
- ・手順書の説明（節水）

⑦購入品についてはグリーン調達に取り組む

- ・文具から年間アイテムの割合増加

＜2017年度の環境目標と実績及び取組内容＞（小野工場）

項目（単位）	目標及び実績	評価結果と次年度の取組内容
CO ₂ 排出量の削減 （上段：t-CO ₂ /台 下段：t-CO ₂ ）	目標： 65	使用電力量の目標達成に伴い、CO ₂ 排出量も良い結果となりました。今後ともCO ₂ 排出量の削減に取り組んで行きます。
	目標： 2,679	
	実績： 47.6	
	実績： 2,093	
使用電力量の削減 （上段：万kWh/台 下段：万kWh）	達成率： 126.77%	デマンド警報の回数が増えないように節電コントロールしている事、機械計画停止多かった事で、良い結果となっています。今後とも電力削減に取り組んで行きます。
	達成率： 121.87%	
	目標： 14.25	
	目標： 587.1	
化石燃料使用量の削減（MJ）	実績： 9.68	エコドライブの呼び掛けと省燃費車の優先順位使用等の地味な活動、社有車の使用が少なかった事で、良い結果となっています。今後も、エコドライブや省燃費車の優先使用などの取り組みを継続します。
	実績： 410	
	達成率： 132.07%	
	達成率： 130.17%	
産業廃棄物（廃プラ）の削減（t）	目標： 536.55	エコドライブの呼び掛けと省燃費車の優先順位使用等の地味な活動、社有車の使用が少なかった事で、良い結果となっています。今後も、エコドライブや省燃費車の優先使用などの取り組みを継続します。
	実績： 91.71	
	達成率： 182.91%	
	達成率： 100.00%	
産業廃棄物（廃プラ以外）の削減（t）	目標： 0	リサイクル化の定着が前年同様、維持できていること、成形現場から出る廃プラの低減活動が継続出来ている事等で目標達成できました。但し、今後は、従来の方法では一部の廃プラが引き取りできないものが発生する為、目標値を下げた取り組みを行います。
	実績： 0	
	達成率： 100.00%	
	達成率： 100.00%	
水道使用量の削減 （上段：m ³ /台 下段：m ³ ）	目標： 27.17	分別による呼びかけと分別の中身の更なる改善の維持、社内メールやナレッジ等も継続して有効活用に取り組んで達成できました。今後も、有効な取り組みは継続します。
	実績： 9.21	
	達成率： 166.10%	
	達成率： 166.10%	
水道使用量の削減 （上段：m ³ /台 下段：m ³ ）	目標： 150.5	設備の定期的チェックによる漏水の早期発見と節水活動の継続で目標が達成できました。今後も異常の早期発見、対処を継続して取り組みます。
	目標： 6,239	
	実績： 134.52	
	実績： 5,919	
グリーン調達	達成率： 110.62%	新規購入の際はエコ商品を優先する等グリーン調達を継続、各部署で余っている事務用品があれば、不足している部署へ回すなどの有効活用の呼びかけ等の活動により目標が達成できました。
	達成率： 105.13%	
	目標： 72.18%	
	実績： 78.62% (217品目/276品目)	
	達成率： 108.92%	

※達成率の計算式：

目的が削減の場合は(1－(実績値－目標値)÷目標値)×100、目的が増加の場合は(1＋(実績値－目標値)÷目標値)×100とする

＜2017年度の環境目標と実績及び取組内容＞（加西工場）

項目（単位）	目標及び実績	評価結果と次年度の取組内容
CO ₂ 排出量の削減 （上段：t-CO ₂ /台 下段：t-CO ₂ ）	目標：182.0	節電に取り組みましたが、移設設備の影響もあり、節電以上に電力使用量が増加しました。また、化石燃料の集計にガス等を入れた関係で、目標値と実績値に大きな差が発生しました。
	目標：1,456	
	実績：214.3	
	実績：1,714	
使用電力量の削減 （上段：万kWh/台 下段：万kWh）	達成率：82.25%	節電に取り組みましたが、移設設備の影響もあり、節電以上に電力使用量が増加しました。
	達成率：82.28%	
	目標：32.22	
	目標：257.8	
化石燃料使用量の削減（MJ）	実績：35.16	目標設定の段階で入っていなかったガス等を集計に取り入れた関係で、目標と実績に大きな差が発生しました。前年に引き続き、エコドライブや乗合、公共機関の活用等に努めます。
	実績：281.3	
	達成率：90.88%	
	達成率：90.88%	
産業廃棄物（廃プラ）の削減（t）	目標：117.11	分別運動を実施し効果が継続されています。
	実績：3,741.09	
	達成率：-2994.51%	
産業廃棄物（廃プラ以外）の削減（t）	目標：0.00	ゼロ活動、分別運動を実施し効果が継続されています。
	実績：0.00	
	達成率：100%	
水道使用量の削減 （上段：m ³ /台 下段：m ³ ）	目標：8.30	水槽清掃等で使用量増加がありました。タンク清掃を見込んだ目標値になっていなかったため、目標設定値の見直しを行い、今後評価していきます。
	実績：0.00	
	達成率：200%	
水道使用量の削減 （上段：m ³ /台 下段：m ³ ）	目標：200.97	水槽清掃等で使用量増加がありました。タンク清掃を見込んだ目標値になっていなかったため、目標設定値の見直しを行い、今後評価していきます。
	目標：1,608	
	実績：285.5	
	2,284	
水道使用量の削減 （上段：m ³ /台 下段：m ³ ）	達成率：57.94%	水槽清掃等で使用量増加がありました。タンク清掃を見込んだ目標値になっていなかったため、目標設定値の見直しを行い、今後評価していきます。
	達成率：57.96%	

※達成率の計算式：

目的が削減の場合は $(1 - (\text{実績値} - \text{目標値}) \div \text{目標値}) \times 100$ 、目的が増加の場合は $(1 + (\text{実績値} - \text{目標値}) \div \text{目標値}) \times 100$ とする

＜2017年度の環境目標と実績及び取組内容＞（本社・大阪営業所）

項目(単位)	目標及び実績	評価結果と次年度の取組内容
CO ₂ 排出量の削減 (t)	目標： 8.57	実績値は、下記使用電力の結果。
	実績： 7.00	
	達成率： 118.32%	
使用電力量の削減 (kWh)	目標： 19,051	テナントビル全体で電力使用量の見直しがあった影響と節電を継続してきた事で削減できました。次年度も目標達成できるように上記を継続して参ります。
	実績： 15,551	
	達成率： 118.37%	
一般廃棄物の削減 (コピー用紙使用枚数)	目標： 26,000	前年に引き続き、受注の減少により印刷枚数が減少しました。その他、最低限の印刷に努めている事で削減できました。次年度も引続き削減運動を継続して参ります。
	実績： 19,000	
	達成率： 126.92%	

※達成率の計算式：

目的が削減の場合は $(1 - (\text{実績値} - \text{目標値}) \div \text{目標値}) \times 100$ 、目的が増加の場合は $(1 + (\text{実績値} - \text{目標値}) \div \text{目標値}) \times 100$ とする

＜法令遵守及び外部コミュニケーション＞

法規制の遵守

2007年1月～2018年3月

法規制等の名称	遵守すべき主な要求事項	遵守の状況
下水道法	特定事業場・特定施設の届出、排水基準の遵守、水質の測定と記録、事故時の届出	遵守
騒音規制法	空気圧縮機、送風機、液圧プレス、機械プレス等	遵守
振動規制法	特定施設の届出、規制基準の遵守	遵守
悪臭防止法	トルエン、酢酸エチル等の適正処理、規制基準の遵守	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃油、金属屑等）、一般廃棄物の適正処理	遵守
グリーン購入法	出来る限り環境物品等を選択するよう努力する	遵守
フロン排出抑制法	フロン類の適正な処理（業務用空調機等）	遵守
消防法	火災報知機・消火栓・消火器等の定期点検	遵守

2018年3月時点で環境関連法規への違反はありません。

なお関係当局よりの違反等の指摘及び環境上の苦情や要請などは、過去11年間ありません。

＜環境活動の取組結果の総括評価（代表者による見直し結果）＞

総括評価：目標達成については、活動の成果が出て良い結果となった。

代表者による見直し結果：

- 1) 工場間の移設設備については、保全活動を重視する。
- 2) 前年同様、安全面での改善を推進する。
- 3) 社内ITの有効活用を継続、推進する。
- 4) 活動中、安全と品質への影響に配慮した安定した活動を推進する。
- 5) 2018年度は目標基準値の見直し後の実績値推移の経過監視を重視する。

2018年5月31日

株式会社ニート

代表取締役社長 児玉崇

<連絡窓口>

当社の環境報告書に関するご意見やご質問等が御座いましたら
環境事務局 森川宛 にご連絡下さい。

<連絡先>

TEL : 0794 - 63 - 3171

FAX : 0794 - 63 - 3172

E-mail : morikawa@neatnet.jp

以上